

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月6日

上場会社名 北川工業株式会社

上場取引所 名

コード番号 6896 URL <http://www.kitagawa-ind.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北川 弘二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 大田 英治

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日

TEL 052-261-5528
平成21年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	5,453	△32.1	453	△67.5	429	△74.1	232	△78.5
21年3月期第2四半期	8,031	—	1,397	—	1,655	—	1,083	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	18.45	—
21年3月期第2四半期	85.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	30,894	27,728	89.8	2,198.33
21年3月期	30,943	27,935	90.3	2,214.71

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 27,728百万円 21年3月期 27,935百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
22年3月期	—	8.50	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	8.50	17.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	△16.4	650	△49.9	750	△54.9	380	△58.8	30.13

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
 新規 1社 (社名) 除外 1社 (社名 インターマーク株式会社)
 (注)詳細は5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注)詳細は5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	13,079,525株	21年3月期	13,079,525株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	466,053株	21年3月期	465,886株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	12,613,523株	21年3月期第2四半期	12,626,191株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(参考) 平成22年3月期の個別業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	9,000 △11.0	400 △26.8	530 △33.3	1,300 341.8	103.06

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年の米国の金融機関破綻を契機とした世界的な景気後退の影響を受け企業収益低迷の長期化、雇用情勢の悪化など依然として厳しい経済状況が続きました。

このような経済情勢の中で、当社グループの主力市場である電機・情報・通信機器業界各社は相次いで生産コスト削減に向けたグローバル規模での生産・調達体制の大幅な見直しの実施や事業再編に向けた動きを加速するなど、当社グループの事業環境は一段と厳しさを増してまいりました。

当社グループは、このような事業環境の変化に対応し受注機会増大へ向け、主力市場に加え環境・エネルギー分野の新成長市場はじめ自動車・住設・工作機械など内需関連市場へのソリューション営業活動の強化をするとともに、国内においては貿易業務連結子会社の吸収合併や一部生産ラインの移転、合理化実施、物流機能の集約など固定費削減を柱とする収益構造改革を推進する一方、海外子会社においても経費の節減に注力をしてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は54億5千3百万円(前年同期比32.1%減)、営業利益4億5千3百万円(前年同期比67.5%減)、経常利益4億2千9百万円(前年同期比74.1%減)、四半期純利益は2億3千2百万円(前年同期比78.5%減)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ49百万円減少し308億9千4百万円となりました。負債は1億5千7百万円増加し31億6千5百万円となりました。純資産は2億6百万円減少し277億2千8百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては世界的な景気後退の影響により依然として厳しい事業環境が続くと予想しております。

このような環境の中で、下半期の業績につきましては、主力市場である電機・情報・通信機器各社のコスト低減に向けた海外生産、海外調達が一段と加速するなど当社グループの海外市場での価格競争の激化が予想されます。当社グループは成長市場である中国を中心とする現地生産シフト、海外販売強化策を推進する一方、グループをあげた原価低減、経費節減に尚一層注力することにより収益体質の向上を図ってまいります。未だ先行きには不透明な状況がありますが、第2四半期累計期間の状況等から平成21年5月14日に発表した業績予想を下記のとおり変更いたします。

(1) 連結業績予想

通期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,000	600	860	560	44.40
今回修正予想(B)	11,000	650	750	380	30.13
増減額(B-A)	△1,000	50	△110	△180	
増減率(%)	△8.3	8.3	△12.8	△32.1	
(ご参考)前期通期実績	13,153	1,297	1,662	921	73.01

(2) 個別業績予想

通期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	9,000	0	130	1,090	86.41
今回修正予想（B）	9,000	400	530	1,300	103.06
増減額（B－A）	－	400	400	210	
増減率（％）	－	－	307.7	19.3	
（ご参考）前期通期実績	10,109	546	795	294	23.32

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

平成21年4月1日に連結子会社であったインターマーク株式会社を吸収合併したため、第1四半期連結会計期間より連結子会社の数が減少しております。

(2) 簡便な会計処理および四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として、定率法を採用している資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

③ 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

④ 税金費用ならびに繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度以降に経営環境等および一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続・表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,341,854	12,437,727
受取手形及び売掛金	3,263,036	2,879,796
有価証券	5,056,117	4,427,024
商品及び製品	344,961	411,786
仕掛品	108,592	134,939
原材料及び貯蔵品	97,902	95,624
その他	379,702	653,434
貸倒引当金	△3,775	△3,989
流動資産合計	19,588,389	21,036,343
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,001,037	4,012,501
その他		
その他(純額)	3,791,140	3,970,125
有形固定資産合計	7,792,177	7,982,626
無形固定資産		
その他	246,898	159,372
無形固定資産合計	246,898	159,372
投資その他の資産		
投資有価証券	770,870	697,538
長期預金	1,463,497	—
その他	1,104,119	1,140,739
貸倒引当金	△71,857	△73,103
投資その他の資産合計	3,266,629	1,765,174
固定資産合計	11,305,706	9,907,173
資産合計	30,894,096	30,943,517
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,686,029	1,443,150
未払法人税等	196,211	99,085
賞与引当金	195,956	191,846
その他	302,221	433,235
流動負債合計	2,380,419	2,167,318
固定負債		
退職給付引当金	476,506	537,749
役員退職慰労引当金	308,530	302,700
その他	127	254
固定負債合計	785,164	840,703
負債合計	3,165,584	3,008,022

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,770,000	2,770,000
資本剰余金	3,915,130	3,915,130
利益剰余金	23,418,329	23,311,761
自己株式	△759,385	△759,202
株主資本合計	29,344,073	29,237,689
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	88,116	52,409
為替換算調整勘定	△1,703,679	△1,354,603
評価・換算差額等合計	△1,615,562	△1,302,194
純資産合計	27,728,511	27,935,494
負債純資産合計	30,894,096	30,943,517

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	8,031,990	5,453,915
売上原価	4,113,536	2,923,174
売上総利益	3,918,453	2,530,741
販売費及び一般管理費	2,521,334	2,077,135
営業利益	1,397,119	453,605
営業外収益		
受取利息	99,917	71,600
受取配当金	4,975	3,627
為替差益	14,918	—
助成金収入	102,546	—
その他	44,810	55,889
営業外収益合計	267,168	131,118
営業外費用		
支払利息	376	380
為替差損	—	148,474
売上割引	2,846	1,205
貸貸収入原価	1,998	2,616
その他	3,204	2,963
営業外費用合計	8,426	155,641
経常利益	1,655,860	429,082
特別利益		
固定資産売却益	196	315
投資有価証券売却益	—	263
投資有価証券償還益	—	747
貸倒引当金戻入額	6,036	715
特別利益合計	6,233	2,042
特別損失		
固定資産売却損	1,022	—
固定資産除却損	2,243	1,841
減損損失	—	9,517
特別損失合計	3,265	11,358
税金等調整前四半期純利益	1,658,828	419,766
法人税等	575,040	187,062
四半期純利益	1,083,788	232,704

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

以 上